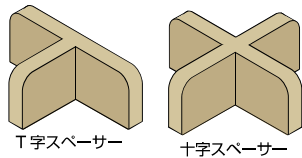


ガイドレール 仕様

品名・品番	材質	寸法(mm)
ガイドレールⅠ型 (EVG-01)	リサイクル材主原料 PE・PP (ポリオレフィン)	30Wx15Tx2100L
ガイドレールⅡ型 (EVG-02)	リサイクル材主原料 HI-PS (ハインパクトポリスチレン)	40Wx3Tx2000L (凸形状)
ガイドレールⅢ型 (EVG-03)	リサイクル材主原料 HI-PS (ハインパクトポリスチレン)	50Wx5Tx2000L (凸形状)

エヴォストーン用スペーサー



品名	材質	寸法(mm)
Ⅰ型T字スペーサー	リサイクル材主原料 PP (ポリプロピレン)	60Wx30Dx20H t=4.0
Ⅰ型十字スペーサー		60Wx60Dx20H t=4.0
Ⅱ型T字スペーサー	リサイクル材主原料 PBT (ポリブチレンテレフタレート)	30Wx19Dx25H t=4.5
Ⅱ型十字スペーサー		34Wx34Dx25H t=4.5
Ⅲ型T字スペーサー		55Wx30Dx30H t=4.5

※Ⅱ型は目地キープ製品にも対応可能なスペーサーです。※スペーサーのイラストはイメージです。

2005年にヨーロッパで開発された「エヴォストーン工法」は
ベルギー・オランダ・ドイツ・フランスなどの欧州の主要国で
新世代の車道舗装工法として数多く採用されています。



*記載されている写真は、印刷物のため実際とは若干異なる場合があります。ご了承ください。また本製品についてのご質問・お問い合わせは下記までご連絡ください。

■ お問い合わせ

●このカタログは環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。



■ 総発売元

ストーンテックジャパン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-25 天洲タワー2F
TEL03-6433-0568 FAX03-6433-0827



シンプルで安定した舗装性能を実現しました

ガイドレールを使った天然石・コンクリート平板・レンガ舗装工法

● **エヴォストーン工法**

Evolutional Paving System

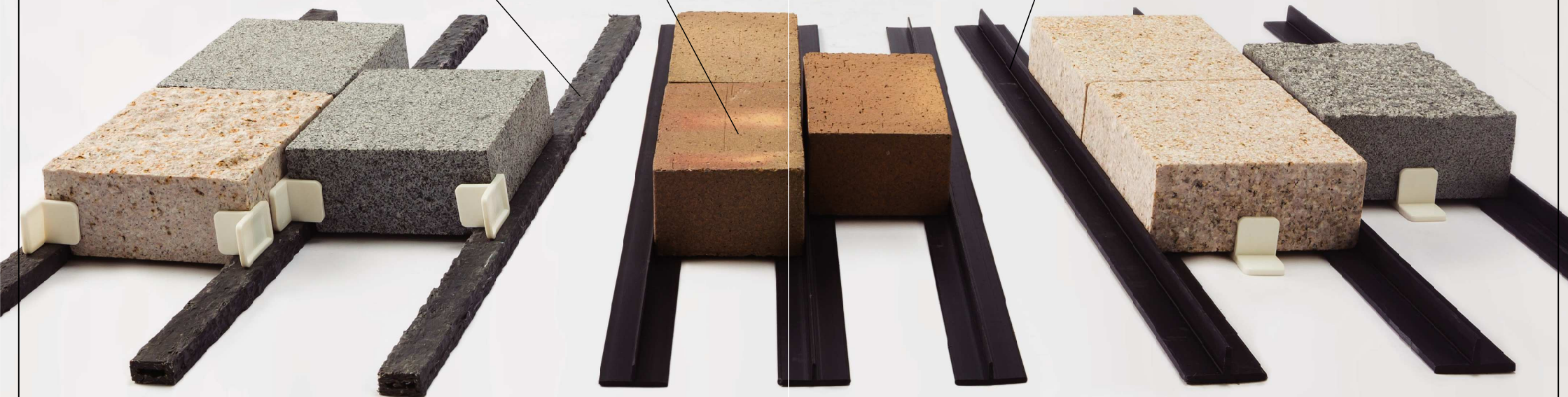
安定した美しい舗装施工をシンプルに実現しました。ガイドレールを使った天然石・コンクリート平板・レンガ舗装工法

● エヴォストーン工法

天然石、インターロッキングブロック、コンクリート平板からレンガ舗装まで幅広いペイメント舗装施工に対応します。ガイドレールにより安定した目地が通り、美しい施工が可能です。

再生プラスチック製の「ガイドレール」を敷設することで、施工品質の均一化、施工と養生時間の工期短縮を実現、舗装材の性能を引き出し、舗装の安定性を大幅に向上します。

「ガイドレール」により、様々な荷重負担がかかるポイントを面で支えるため、車道や乗り入れ箇所の舗装工法にも最適です。安全で健やかな舗装を「エヴォストーン工法」は実現します。



ガイドレールⅠ型



ガイドレールⅡ型



ガイドレールⅢ型

様々な設計に合わせて選べるガイドレールをラインナップ
ガイドレールを使った車道施工にも適した新工法

EVO STONE

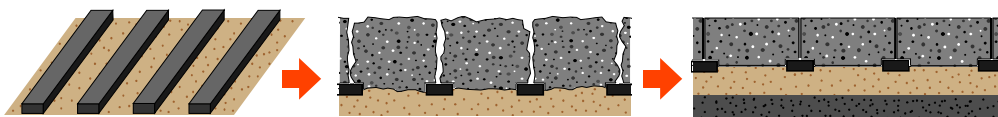
エヴォストーン工法とは？

自然石、インターロッキングブロック、コンクリート平板などの舗装材をプラスチック製の『ガイドレール』上に鋪設することで施工の簡易化（舗装施工の作業品質の均一化）を図り、施工時間を短縮、養生期間も不要の新工法。さらに車両通行・乗り入れも可能にします。

エヴォストーン工法のコンセプト ～発生する路盤の誤差を最小に～

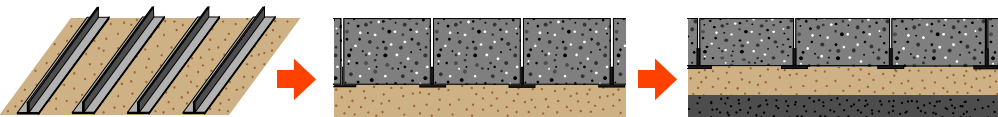
- ① 均し砂面にプラスチック製ガイドレールを設置。
- ② 鋪石をガイドレールに敷設すると均一な施工面が確保されます。
- ③ 舗装面の段差を最小に抑えます。天然石、平板、レンガなどを迅速かつ容易に施工が可能です。

ガイドレールⅠ型



▲ガイドレールⅠ型の場合、別途舗装材への溝加工が必要となります。

ガイドレールⅡ型・Ⅲ型



各ガイドレールの特徴

ガイドレールⅠ型「車道舗装型・リノベーション型」

【特徴】

- ・現在使用している舗石のモルタル等を剥がして再利用することが可能 → **資材費用の低減**
- ・舗石に溝加工を施し、ガイドレールを設置することで不揃いな自然石でも高さを揃えることが可能 → **ガタガタ道の解消**
- ・自然石の趣きやテクスチャーそのままに強度と安定性を保てます → **景観と安全性の両立**



【舗石の溝加工工程】 コンクリート平板、インターロッキングブロック、レンガ等への加工も可能。

移動式スライスマシンにて敷モルタルの切削、剥離

溝加工マシンにて舗石の底両側に直角の溝を加工

溝をレールに合わせて敷設



舗石1つ1つの上部から一定の寸法に規則的な溝をつけます。

ガイドレールⅡ型「凸レール・車両乗り入れおよび歩道型」

【特徴】

- ・ガイドレールを凸形状とすることで、舗石の加工が不要です。
- ・目地付きインターロッキングブロックにも対応。

ガイドレールⅢ型「凸レール・車両乗り入れおよび歩道型」

【特徴】

- ・Ⅱ型をベースにさらに強度をアップしました。
- ・目地幅は5mm
- ・大きな平板や厚物に対応します。



エヴォストーン工法のメリット

- ・車両の通行に対応、車道への施工が可能です。
- ・施工面の平滑性を確保し、安全な舗装に貢献します。
- ・舗装の安定性に優れ、陥没やガタツキ、舗石の動き出しがありません。
- ・乾式工法で、雨水を地下に還元できます。
- ・小舗石湿式工法に比べ、大きなサイズの舗石で施工が可能で、意匠性の幅が広がります。
- ・施工後の復旧工事、メンテナンスも容易です。
- ・施工直後に交通解放が可能、養生時間も不要で現場負担を軽減します。

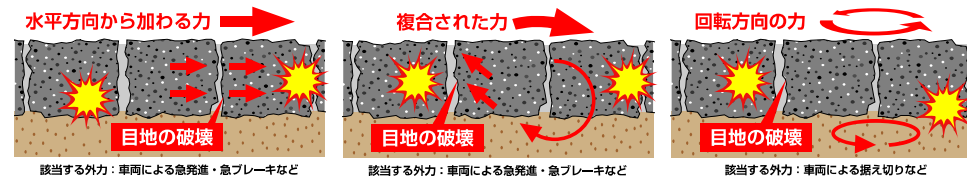
・施工中も転圧前の施工面を自由に使用できます。フォークリフトによるパレット単位での材料搬入も可能です。



ガイドレールの効果 ～舗装への負担を分散し、安定した舗装を実現～

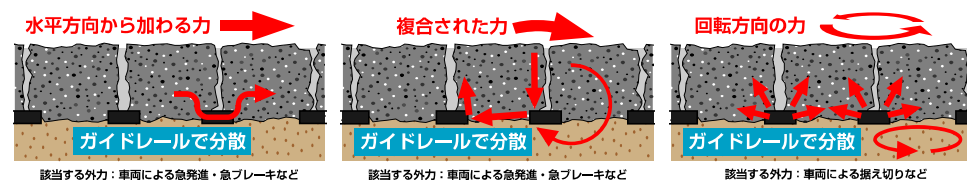
「在来工法」の場合

自動車などによる「ハンドルの握え切り」や「急ブレーキ」「急発進」で舗装材には大きな負担がかかります。「在来工法」では舗装材・目地それぞれに、これらの負担がダイレクトに伝わり、目地が圧迫され舗装面の均一性や本来の性能を損なう原因となっています。



「エヴォストーン工法」の場合

エヴォストーン工法では、車両の通行や急ブレーキ・急発進、ハンドルの握え切りなどによる外部からの負担を「ガイドレール」、「スペーサー」で分散軽減。点ではなく面で力を受けることで、目地や構造、舗装材にストレスを与えません。



エヴォストーン工法 施工実績



伊勢おかげ横丁



横浜元町



伊勢外宮



個人邸



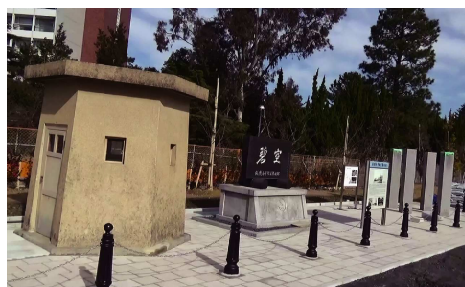
京都府内市道



半田市 新美南吉生家前



和歌山市内駐車場



鈴鹿市防災公園

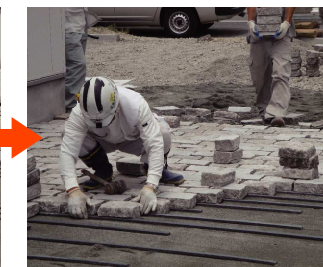
ガイドレール 施工手順



敷砂転圧・高さ調整



ガイドレール敷設



舗装材設置



目地材掃き入れ



転圧



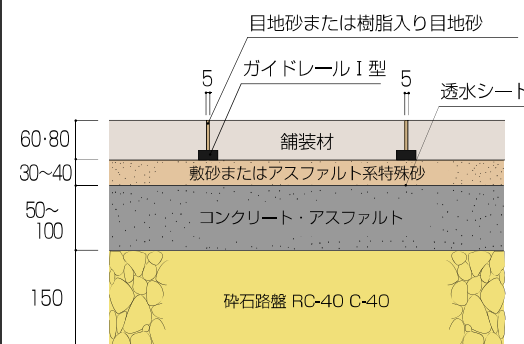
完成

▲ 施工手順において「路盤施工」「縁石などの設置」「透水シート設置」は設計および現場環境によって変わるため、手順からは割愛いたしました。

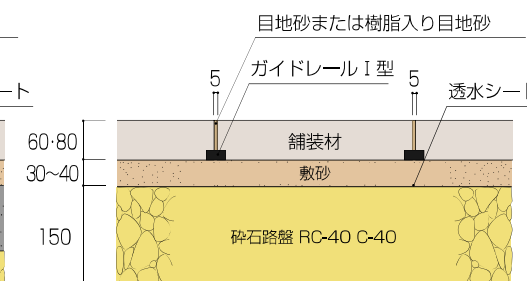
標準施工断面図（凡例）

ガイドレール 標準施工図

【車道構成】



【軽車両・乗り入れ・歩道構成】



※車道仕様については、Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型それぞれの特性を考慮の上ご検討ください。